

令和6年度「かなざわ幼児教育みちしるべ」活用推進事業 「結果報告書」

施設名 みはる幼稚園

【連携小学校】

金沢市立鞍月小学校

【連携幼児教育施設】

くら月こども園・あけぼのこども園

【主な取り組み内容・経過】

別紙参照

① 大切にすること

特定の1園対1園の取り組みではなく、鞍月小学校校区にある保育園・幼稚園・認定こども園と協力して取り組む。校区全体で取り組むことによって、より多くの子どもに効果がある。また、小学校側としても「幼小連携」が根付き、毎年よりよいものを作り上げていける。鞍月小学校校区には、3園の保育教育施設がある。くら月こども園・あけぼのこども園みはる幼稚園すべての取り組みを行っていく。

② 接続カリキュラム作成にあたって

1年だけの取り組みにせず、毎年行つていけるよう、3園と鞍月小学校とで話し合いながら進めていく。

5月：管理職打ち合わせ・年間スケジュール確認

6月：鞍月小学校 運動会見学

8月：鞍月小学校の先生が3園のこども園へ見学実習（小学校主催）

8月：鞍月小学校の先生と3園のこども園の先生とで合同研修会（こども園主催）

9月：こども園年長園児が夏休みの自由研究を見に小学校訪問

10月：管理職打ち合わせ

1月：年長さんを迎える会（小学校主催）

3月：小学校学校探検（こども園主催）

③ 小学校の学校目標の一つである「コミュニケーション」を共通の架け橋目標にする。

そのために、3月の学校探検では、3園の園児が合同のグループ割にし、活動をする。

自己紹介等の活動を通して、自分から発信することの喜びを感じる。

【令和6年度の活動の成果・考察】

幼小連携事業 成果報告

本事業は、子どもたちの小学校へのスムーズな移行を支援するため、小学校との合同研修と学校探検を柱として実施しました。

1. 子どもの成長

- * 小学校への期待感・安心感の醸成:
 - * 学校探検では、小学校の先生や小学生との交流を通して、小学校に対する親近感や安心感を抱く姿が見られました。「小学生のお兄さん、お姉さんが優しく話しかけてくれて嬉しかった」「小学校の教室は幼稚園より広くてワクワクした」など、具体的な感想が聞かれました。
 - * 社会性・協調性の育成:
 - * 異年齢の子どもたちと関わることで、年長児は年下の子どもたちへの思いやりやリーダーシップを、小学生は年下の子どもたちへの優しさや協調性を育むことができました。
 - * 学習への意欲向上:
 - * 小学校探検では、小学校の授業を見て、小学校の学習内容に触れることができました。子どもたちは「小学校の勉強は面白そう」「早く小学校に行きたい」と、学習への意欲を高めました。

2. 教職員の成長

- * 小学校教育への理解深化:
 - * 合同研修では、小学校の先生から小学校の学習指導や学校生活について学び、小学校教育への理解を深めることができました。
 - * 小学校の先生との意見交換会では、互いの教育観や課題を共有し、連携意識を高めることができました。
 - * 連携体制の構築:
 - * 合同研修や学校探検を通して、小学校の先生との信頼関係を築き、連携がスムーズになりました。
 - * 今後の連携に向けた課題や改善点を共有し、継続的な連携体制構築に向けた具体的な計画を立てることができました。

3. 今後の展望

本事業で得られた成果と課題を踏まえ、以下の点に重点を置き、小学校との連携をさらに深めていきます。

- * 継続的な情報交換と合同研修の実施
- * 小学校先生との合同研修の実施
- * 子どもの発達段階に応じた連携プログラムの開発

これらの取り組みを通して、子どもたちの小学校へのスムーズな移行を支援し、子どもたちの健やかな成長を育んでいきます。

【令和6年度の活動を終えての所感】

今回の取り組みの中で、一番大きな成果は、金沢市鞍月小学校にあるすべての保育施設（くら月こども園・あけぼのこども園・みはる幼稚園）が協力をして取り組みを行ったことです。3園と鞍月小学校のスタッフが協力をして、子どもが安心して小学校へ進学できるよう何度も打ち合わせを重ね、情報交換を行いました。話し合いの中では、小学生に進学して、生活リズムが一番の課題であることを再認識し、小学校へ進学する前に、保護者に「習慣づけのために大切なこと」を3園共通した内容を保護者に訴え、小学校につなげることができたら、より効果があると考えました。

○3園で話をして、保護者に伝えたこと

① 習慣づけについて

- ・習慣になるためには、保護者が一緒に取り組むことが大切。子どもが早寝早起きをするためには、まず、保護者が早寝早起きの習慣をつけなければいけない。子どもが朝家を出る時間から逆算をして、保護者の方も何時に起床しないといけないのか一度考えてみることが大切。

② 最初の4月が大切

- ・こども園では、共働きの保護者を支えるために、ICT化が進んでいます。忘れ物を防ぐために、前日にリマインドがアプリで届いたり、日中の体温や様子がアプリで配信されたりと、数多くのサポート体制があります。しかし、小学校では、環境が変わります。子どもの自立の一歩を大切にするために、保護者に対する手厚さはありません。お便りをしっかりと確認をして、子どもと話をしながら、進めていくことが大切。

③こどもとのコミュニケーションを大切に

- ・YouTube・ゲーム等で遊ぶ子どもが増えています。今一度、家族でルールを大切にしましょう。

来年度は、校区のつながりを大切に、取り組んでいきたいです。



